

2. 広島市医師会とがん登録—その 50 年
桑原 正雄 (広島市医師会)
3. がん登録資料の有効な活用—広島県で発生した
がんの変遷—
安井 弥 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科
分子病理学)
4. がん登録における個人情報保護への配慮
片山 博昭 (放射線影響研究所情報技術部)
- 指定発言
山内 雅弥 (中国新聞社編集委員)

17:00—17:15 ポスター表彰・閉会の挨拶
17:15—17:30 ポスター撤去

9月6日(木) がん登録実務者研修会

参加費：1,000 円

14:00 受付開始

司会：杉山 裕美 (放射線影響研究所
広島研究所疫学部)

中元 一望 (広島県医師会学術研修課)

- 14:30—15:00 「模擬症例 (1) の検討」
15:00—15:30 「模擬症例 (2) の検討」
15:30—15:50 休憩
15:50—16:20 「模擬症例 (3) の検討」
16:20—16:50 「模擬症例 (4) の検討」
16:50—17:20 質疑応答
18:00—20:00 懇親会

会場：広島医師会館 3 階健康教育室

懇親会費：4,000 円

関連企画

広島県地域がん登録システムおよびセキュリティ
見学会

日時：9月8日(土) 9:00-12:00

場所：放射線影響研究所

会費：無料

第 16 回地域がん登録全国協議会総会研究会
大会会長：児玉和紀
事務局：財団法人放射線影響研究所 疫学部 気付
〒732-0815 広島市南区比治山公園 5 番 2 号
電話：082-261-3131 (内線 579)
FAX：082-262-9768
E-mail：16thjacr@rerf.or.jp

第 29 回国際がん登録学会 (29th Annual Meeting of IACR) のご案内

井岡 亜希子

大阪府立成人病センター 調査部

2007 年 9 月 18 日—20 日の 3 日間、スロベニアのリュブリャナ (Ljubljana, Slovenia) にて、第 29 回国際がん登録学会 (29th Annual Meeting of IACR) が開催されます。スロベニアは四国ほどの広さ (約 2 万 km²) で、オーストリア、ハンガリー、クロアチア、イタリアと国境を接し、地中海からアルプスにかけて美しい自然の風景のあふれる国です。また、2004 年以降は EU 加盟国でもあります。リュブリャナはスロベニアの首都 (人口約 30 万人) で、国土の中央に位置し、スロベニアの輸送、科学、教育の中心都市であり、ヨーロッパの貿易、ビジネス等の重要都市でもあります。

今回の学会のテーマは、「がん登録における伝統と新技術の岐路：登録での電子情報の使用法」と「がん対策におけるがん登録の役割」です。後者については、①一次予防効果の評価におけるがん登録、②早期発見の評価におけるがん登録、③がん医療および生存率の評価におけるがん登録、④第一がん治療の晩発影響の評価におけるがん登録、の 4 つのセッションが設けられます。わが国では、この学会の開催前後に、国のがん対策推進基本計画および都道府県のがん対策推進計画が策定される予定で、がん対策におけるがん登録が注目されつつあります。したがって、これらのテーマはとても興味深く、ここからきっと多くのヒントが得られることでしょう。

わが国からは多くの研究者が参加を予定し、わが国

のがん登録の現状やがん対策関連の研究を発表します。この学会から得られたアイディアをもとに、今後わが国において、がん対策評価のツールとしてのがん

登録の重要性がますます認識されますことを、願っております。

Preliminary programme for 29th annual meeting of IACR

	AT THE CROSSROAD OF TRADITION AND NEW TECHNOLOGIES IN CANCER REGISTRATION: the use of computerised sources of information in the registries
2007/9/18	THE ROLE OF CANCER REGISTRIES IN CANCER CONTROL Session1: Cancer registries in the evaluation of impact of primary prevention measures
2007/9/19	THE ROLE OF CANCER REGISTRIES IN CANCER CONTROL Session2: Cancer registries in the evaluation of screening and early detection THE ROLE OF CANCER REGISTRIES IN CANCER CONTROL Session3: Cancer registries in the evaluation of cancer care and survival
2007/9/20	THE ROLE OF CANCER REGISTRIES IN CANCER CONTROL Session4: Cancer registries in the evaluation of late effects of treatment for a primary cancer

編 集 後 記

本号と次号の編集委員（主担当）を仰せつかりました放射線影響研究所（広島）の西でございます。ときどき編集後記で（本ニュースレターではありませんが）、「～に向かう飛行機の中で」とか、「東京へ移動中の新幹線で」という記述を見かけることがあります。私事で恐縮ですが、私も6月27日（水）から7月11日（水）まで広島県からの在米被爆者健診団に参加してロサンゼルス・ホノルルに出張する予定があり、執筆者の皆様には無理を承知で「7月の刊行を目指しておりますので、6月25日（月）の締め切りまでに、原稿の送付をよろしくお願い申し上げます。」というメールを5月30日に差し上げました。幸い、6月26日（火）の午前中までに原稿が出そろい、ほぼ校正刷りの形式になった原稿を拝見しながら、出張前に編集後記を書かせていただいています。まずは、執筆いただいた先生方と事務局の皆様のご協力に感謝申し上げます。

本号の内容ですが、冒頭で岡本理事長から統計法の改正が地域がん登録事業に与える問題点について解説いただき、それに続いて厚生労働省の木村課長補佐、吉見先生から、がん対策推進基本計画についてがん登録との関連を中心にご紹介いただいています。また国立がんセンターの松田先生、丸亀先生からは、手引き改訂第5版と第2期事前調査についてそれぞれご説明いただきました。さらに柴田先生からは標準報告書の解説を、石丸先生からは山口県の登録室便りをいただきました。井岡先生にご紹介いただいた国際がん登録学会については、次号で西野先生からご報告をいただく予定です。最後に第16回総会研究会は広島での開催です。繰り返しになりますが、皆様のご参加をお待ちしています（西）

2007-2008 年 関連学会一覧

2007 年

9月6-7日	地域がん登録全国協議会総会研究会（第16回）	広島市 広島市南区民文化センター
9月18-20日	国際がん登録学会（IACR）（第29回）	Ljubljana, Slovenia
10月3-5日	日本癌学会（第66回）	横浜市 パシフィコ横浜
10月24-26日	日本公衆衛生学会（第66回）	松山市 愛媛県民文化会館ほか

2008 年

日本疫学会（第18回）	東京都 順天堂大学
-------------	-----------

発行 地域がん登録全国協議会 Japanese Association of Cancer Registries 理事長 岡本 直幸
事務局 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-2-14 日本橋 KN ビル 4F
Tel : 03-5201-3867 Fax : 03-5201-3712
E-mail : jacr@cancerinfo.jp URL : http://www.cancerinfo.jp/jacr/